

# 千葉市ブルーボンド

(機関投資家向け・10年債)

千葉市は、SDGsの取組みに対する理解促進や、千葉市債の投資家層拡大を図るため、ブルーボンドを発行します。

## 発行概要

名称	千葉市令和5年度第7回公募公債（ブルーボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	30億円
各公債の金額	1,000万円
条件決定日	最速令和5年12月（予定）
発行日	最速令和5年12月（予定）
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（事務）／みずほ証券株式会社
購入対象	機関投資家向け
適合性評価	国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則2021」及びIFC（国際金融公社）の「Guidelines for Blue Finance（2022年1月）」等との適合性について、株式会社日本格付研究所より、最上位評価の <b>SU1(F)</b> 及び <b>B1(F)</b> を取得しています。
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本市ウェブサイト上で投資家名をご紹介します。

## 資金使途として想定している事業

### ブルー適格プロジェクト（汚染の防止と管理／水衛生）



管渠改築事業



ポンプ場整備事業



浄化センター整備事業

## ブルーボンドとは

- ・調達資金の全額が海洋保全等に資するブルー適格プロジェクトに充当される債券です。
- ・ブルーボンドの発行は地方公共団体では初の事例となる見込みです。

SDGs債の種類	資金使途
グリーンボンド	グリーン適格プロジェクト ブルー適格プロジェクト
ブルーボンド	ブルー適格プロジェクト
ソーシャルボンド	ソーシャル適格プロジェクト
サステナビリティボンド	グリーン適格プロジェクト ブルー適格プロジェクト ソーシャル適格プロジェクト



※ 調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当されるグリーンボンドをブルーボンドと定義

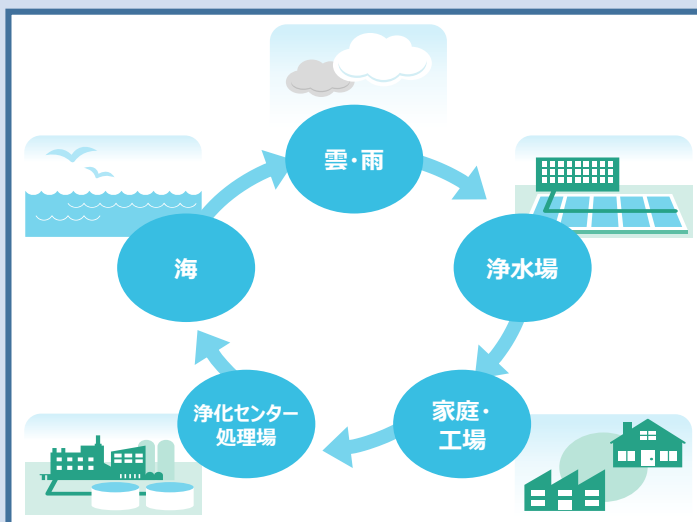
## 千葉市ブルーボンド発行の背景

### <千葉市と「水」の関わり>

- ◆ 千葉市には日本一の水域面積を誇る千葉港があり、鉄鋼・機械・食品・自動車等、様々な製品の物流拠点としての役割を担っています。
- ◆ また、本市のベイサイドエリアは、日本一の長さを誇る人工海浜（幕張の浜・検見川の浜・いなげの浜）、稲毛ヨットハーバーや千葉ポートパークなど、レジャーにおいて魅力的なエリアです。
- ◆ さらに、約5,000～3,000年前の縄文時代、この地が「千葉」と呼ばれる遙か昔、人々は、海で取れた貝や魚をはじめとした海の幸・山の幸を食べて暮らし、数々の貝塚が形成されました。なかでも加曽利貝塚は、日本最大級の貝塚として現在、国の特別史跡に指定されています。
- ◆ このように、遙か昔から現在に至るまで、千葉市は水と密接に関わって発展を続けてきました。今回の資金使途として想定している事業は、「水の循環」に関連した事業です。工業排水等を適切に処理するインフラの整備により海洋汚染を防止し、持続可能な水資源利用の仕組みをより強固にしていきたいと思います。

### <水の循環>

- ◆ 海や川などから蒸発した水は雲となり、雲は雨を降らせ、降った雨は川や海、地下を流れ、そこからくみ上げられた水は浄水場等を経由し、上水道として飲み水などの生活用水等として使われます。工場や家庭で使われた水は、下水道管やポンプ場を経由して浄化センターに送られ、きれいになった水は再び川や海に流れ着きます。この一連のサイクルを「水の循環」と呼んでいます。



## お問い合わせ先

### 購入に関するお問い合わせ

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**  
 千葉支店 TEL 043-246-6396

**みずほ証券株式会社**  
 千葉支店 TEL 043-222-8251

### その他SDGs債に関するお問い合わせ

**千葉市 財政局財政部資金課**

TEL 043-245-5078 E-mail shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

URL <https://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/shikin/sdgsbonds.html>

